



受付日：令和6年9月26日
受付番号：HP24-KT135

接合部性能試験成績証

東京都港区海岸1-1-1
ニューピア竹芝ノースタワー
ハウスプラス住宅保証株式会社
代表取締役社長 鈴木哲夫



試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和6年12月2日

1. 接合金物名称	羽子板HD15kN								
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1								
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。								
4. 試験内容	横架材端部接合部(梁-梁型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス住宅保証株式会社制定「木質構造試験等業務における接合部性能試験業務方法書(令和6年12月1日制定)」による。								
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「羽子板HD15kN」 材質：SPHC(JIS G 3131)*1 寸法：(外形)40mm×49mm×160mm 背板部板厚6mm U金具部板厚4.5mm ビス用孔5-φ6mm 表面処理：エコーコートWH*2処理</p> <p>「羽子板HD専用座金」 材質：SS400(JIS G 3101)*3 寸法：26mm×38mm t=6mm ボルト用孔1-φ13mm 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2 C(JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>2) 接合具</p> <p>「木ねじ TBA-65」5本 材質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.15~0.23% Mn:0.60~1.00% P:0.030%以下 S:0.050%以下 寸法：頭部径φ9.3mm 軸径5.5mm ねじ山径6mm ねじ谷径3.7mm ねじピッチ3.0mm 首下L=65mm ねじ部L=54mm 表面処理：エコーコートWH*2処理</p> <p>「六角ボルト M12」1本 材質：強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼(JIS B 1180) 寸法：M12 L=225mm 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2 C(JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>「丸座金φ58」1個 材質：SS400(JIS G 3101)*3 寸法：(外径)φ58mm (内径)φ13mm 板厚6mm 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2 C(JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>「六角ナット M12」1個 材質：強度区分4Tを満足する炭素鋼(JIS B 1181) 寸法：M12 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2 C(JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>3) 軸組材料</p> <table><tr><td>加力梁：105mm×105mm×600mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率：9.0~11.0%</td><td>全乾密度：0.42~0.45g/cm³</td></tr><tr><td>支持梁：105mm×105mm×1,000mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率：9.5~11.5%</td><td>全乾密度：0.41~0.44g/cm³</td></tr></table> <p>*1 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.15%以下 Mn:1.00%以下 P:0.100%以下 S:0.050%以下 *2 エコーコートWHは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標 *3 引張強さ：400N/mm²以上、降伏点245N/mm²以上の強度を満たす炭素鋼</p>	加力梁：105mm×105mm×600mm	スギ 無等級材	含水率：9.0~11.0%	全乾密度：0.42~0.45g/cm ³	支持梁：105mm×105mm×1,000mm	スギ 無等級材	含水率：9.5~11.5%	全乾密度：0.41~0.44g/cm ³
加力梁：105mm×105mm×600mm	スギ 無等級材								
含水率：9.0~11.0%	全乾密度：0.42~0.45g/cm ³								
支持梁：105mm×105mm×1,000mm	スギ 無等級材								
含水率：9.5~11.5%	全乾密度：0.41~0.44g/cm ³								
6. 試験条件等	試験体は、実状に合わせた仕様としている。 試験体の固定：加力梁芯より支持梁両木口側に150mmの位置で角座金W9.0×80及びM16ボルト・ナットを用いて鉄骨架台に緊結した。(トルク管理値：20N・m) また、試験体の横倒れを防止するためのサポート治具を設けた。								
7. 試験結果	短期基準接合耐力 18.4 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)								
8. 試験場所	ハウスプラス住宅保証株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番								
9. 試験実施日	令和6年10月28日								
10. 試験実施担当者	ハウスプラス住宅保証株式会社 審査部 評定室 坂横 義夫 千葉 博 石田 恵菜								

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。